アズパートナーズ

練馬に複合高齢者施設

デイサービスとショートステイ

アズパートナーズ（東京都千代田区、植村健志社長）は12月1日、東京都練馬区土支田にデイサービス事業と同社としては初めてとなるショートステイ事業の複合施設「アズハイムテラス練馬」を開設した。

練馬区では、民間の事業者によるショートステイ事業は初めて。

デイサービスは定員40人、ショートステイは約12平方㍍の完全個室を20床用意した。

「大人の休息」をコンセプトに、ベージュを基調とした配色と、壁や床材には柔らかい素材を採用するなど、住宅を意識した仕様とした。

植村社長は「04年から9期目を迎え、練馬では6年前から始めている介護付き有料老人ホーム2拠点に続く3弾目。地域の方が働き、地域の食材を使った食事を提供したい。高齢者事業をサービス業として根づかせ、まだまだ未熟なこの業界に少しでも貢献したい」と語った。

デイサービスとショートステイの複合施設は同社初

同社は、これまで浦和や川越（埼玉県）、文京区白山（東京都）、東寺尾、上大岡（神奈川県）で介護付き有料老人ホームを展開。13年4月には10棟目のデイサービスセンターを併設する介護付有料老人ホームを横浜市泉区に開設する。

中古の安全取引を支援

サービス一括提供商品を発売

大阪府不動産流通活性化協議会

建物検査や住宅履歴など

大阪府宅地建物取引業協会や日本住宅保証検査機構（JIO）、関西アーバン銀行などで構成する大阪府不動産流通活性化協議会（阪井一仁会長）は、インスペクション（建物検査）やシロアリ点検・保証、住宅履歴情報といった安全な中古住宅取引を支援するサービスを一括提供する商品『ワンステート』を開発し、大阪宅建業協会の会員約8500社に対して提供を始める。

中古住宅流通の活性化を目的に、宅建業者とリフォーム業者などの異業種が連携して行う新たなビジネスを支援する国交省のモデル事業（12年度）に採択された事業。従来は各事業者が個別に提供していたサービスを業界で初めてパッケージ化したうえで窓口を同協議会に一本化することによって宅建業者や顧客の手間を省き、流通市場の活性化につなげる。サービス提供は1月中旬。1年後には月間100件の利用を見込む。

ワンステートが提供するのは、インスペクション（中古住宅かし保険加入の際に実施する建物検査）と、検査で指摘された補修カ所の見積もり、シロアリ点検。建物検査の結果をはじめとした住宅履歴を物件引き渡し後10年間にわたって保管するほか、シロアリ被害を1年間保証し、引き渡しから1年後に住宅のアフター点検も提供する。

サービス提供価格は8万9250円（100平方㍍未満の住宅）。別途費用で中古かし保険に加入可能で、希望者には関西アーバン銀行のリフォーム付き住宅ローンも紹介する。

同協議会は、不動産鑑定士による価格査定や、提携金融機関による優遇ローンの同時提供も検討中だが、とりあえずこの2つのサービスを除いた内容でスタートすることにした。

12月14日には大阪府不動産会館でワンステートの商品発表会を開く。15時開演で、国交省不動産業課の野村正史課長が、流通市場活性化に向けた講演も行う。

NEWSフラッシュ

■通常総会を開催／埼玉県マンション管理士会

埼玉県マンション管理士会（伊藤茂忠理事長＝写真）は11月23日、川越市生活情報センターで通常総会を開き、今年度の事業計画案と予算案を承認した。

伊藤理事長は、設立10年を迎えた活動の成果を発表する催しとして、来年1月に「全国マンション管理士会合同研修会埼玉大会」を開くことを発表した。

マンション管理の形態がこの10年で大きく変わっていることによるマンション管理士のニーズの増大にも触れながら「今後は行政とともに県民へ情報を伝え

きながら県

される環境

きたい」と

事業計画

自治体との

ミナー・無

催」「埼玉

居住支援ネ

活動への参

府県マンシ

体と協同で

案」。予算

行政相談会

を新たに加

■法政大橙法会が優勝／大学不動産連盟野球

大学不動産連盟野球秋季リーグ戦は11月28日、法政大学建設・不動産橙法会と明治大学建設・不動産駿台会が優勝決定戦を行い、3対2で法政がサヨナラ勝ちして、リーグ開設2季目の優勝杯を勝ち取った。

好投堅守の緊迫した試合を展開。後半のワンチャンスを法政がものにした。法政の櫻井直人主将は「メンバーそれぞれがその役割を担い果たしたことによるクの勝利」

連盟リー

日大・法政

田・立教で

秋季には中

して、現在

している。

※「地域をお・会社」

エリアマーケット